



## 今年も残りわずか、年の瀬を迎えて何を思う?!

2022年もいよいよ残り1週間となりました。今年は皆さんにとってどんな年でしたか?きっと昨年の今頃は、高校入試に向けて落ち着かない日々を過ごしていたことでしょう。そして4月を迎え、晴れて甲府西高に入学、期待と希望を胸に高校生活をスタートさせたことだと思います。あれから9ヶ月、だいぶ高校生活にも慣れた今の皆さんの中にはどんな思いがあるでしょうか。入学前に思い描いていたとおりの高校生活を送っている人もいると思いますが、大抵の人は「こんなはずじゃなかった…」などと思っているのでは?でもそれは、実は当たり前のことかもしれません。人は誰しも、何事かを始める前は高い理想を掲げるものの(またそうであって欲しいもの)です。でも段々と理想と現実とのギャップに苦しめられ、落ち込んだり悩んだりするものなのです。

学校は、明日から13日間の冬季休業に入ります。ここで疲れた心や体を一休みさせ、2023年を新たな気持ちでスタートさせてもらいたいと思います。そのためにちょっとした秘訣をアドバイスします。

それは視覚的に「自然」を見ることです。脳科学者で精神科医の久賀谷亮氏のコラムでは、『自然は人工物と違って揺らぎがあります。つまり動きが機械的あるいは全くない人工物に対して、自然のものは風にそよいだり音を奏でたり、さまざまな形でまさに「自然」な揺らぎを提供します。この揺らぎが、我々の脳の中にもある揺らぎと波長を合わせることで、疲れが癒されるのではないかという見方があります。自然の曲線や不規則さ、つまり人工物とは違う、我々の慣れ親しんだ形を崩してくれる不整合な所作がカギなのかなあと、今も思います。』(抜粋)とのことです。

幸い(?)山梨県は自然の宝庫なので、少し目線を上げて周囲を見回せば「自然」が見つかる環境にあります。年の瀬を迎える今、みんなも1日のうちに30分とは言いません、10分程度でいいので心を静め、ぼんやり自然のある風景を眺めてみるのもよいことかもしれません。

### ■1月6日(金)の予定

- 8:35 ~ 8:40 SHR
- 8:45 ~ 8:55 冬季休業明け集会
- 9:00 ~ 10:00 LHR
- 2校時以降は平常授業

## 1年次レクレーションを行いました!

12月19日(月)に「年次レク」を行いました。予想最高気温7°Cの中でしたが、天候は快晴で風もなく穏やかな日光の下で、1年次生たちはクラス対抗で綱引きと選抜リレーを楽しみました。



## 【1月行事予定】

A: A週 B: B週 行: 学校行事 を表します

日	曜	A/B	予定
1	日		校内完全閉鎖(～1/3)
2	月		
3	火		
4	水		
5	木		冬季休業終了
6	金	A	休業明け集会 2校時より平常授業
7	土		
8	日		
9	月		成人の日
10	火	B	
11	水	B	
12	木	B	
13	金	B	冬季バイク通学許可式、ベネッセ総合学力テスト(2年)
14	土		ベネッセ総合学力テスト(1,2年)大学入学共通テスト(3年)
15	日		大学入学共通テスト(3年)

日	曜	A/B	予定
16	月	A	第3回進路希望調査、共通テスト自己採点(3年)
17	火	A	
18	水	A	山日YBS席書き大会
19	木	A	
20	金	A	春季原付免許取得説明会、英検一次準会場
21	土		課題論文中間発表会(1,2年)
22	日		
23	月	B	三者懇談(1,2年) 短縮45分授業
24	火	B	三者懇談(1,2年) 短縮45分授業
25	水	B	三者懇談(1,2年) 短縮45分授業、懇談は16:00以降
26	木	B	三者懇談(1,2年) 短縮45分授業
27	金	B	三者懇談(1,2年) 短縮45分授業
28	土		
29	日		
30	月	A	三者懇談(1,2年) 短縮45分授業
31	火	A	大掃除 短縮45分授業

## 保護者のみなさまへ

日頃より本校の様々な教育活動に対し、深い御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。月日の経つのは早いもので、2022年も残りわずかとなりました。生徒たちは4月の入学以来、甲府西高という集団の中で、学業はもとより、部活動・学校行事など様々な活動に仲間たちと一緒に懸命取り組むことで、お互いに刺激し合いながら、身体的にも精神的にも大きく成長したように思われます。さて、明日から13日間の長期休業に入りますが、生活リズムを崩すことなく規則正しい生活を送りますよう、また家族団らんの時間をより多く過ごすことで有意義な冬休みとなりますよう、御家庭での御指導をよろしくお願ひいたします。

1月下旬には三者懇談を予定しております。限られた時間ではありますが、日頃感じていらっしゃることや、御相談されたいことなど、どんな些細なことでも遠慮なくお話ししいただければと思います。

職員一同、1年次の最後をしっかりと締めくくり、いい形で2年次を迎えるよう努力してまいりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。 来たる2023年が素晴らしい1年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



3組副担任の志村泉先生（音楽）に寄稿していただきました。

### 「を」の発音

3組 副担任 志村 泉

皆さんは、「を」を何と発音しますか？私はずっと「wo」と発音していました。「wo」と教わり、それが当たり前だとずっと思っていました。しかし、最近、それが違うことを知り驚きました。愛媛県民だけが「wo」と発音しているという放送があったのですが、放送後、各地方から「wo」と発音しているという情報が寄せられたそうです。ちなみに、私の周りの山梨県民は、ほぼ全員「wo」と発音していました。

なんと、現代日本語としては「o」が正しいそうです。現代どころか、どうやら1000年も前からそのようです。私の妻は生まれも育ちも東京ですが、「o」と発音するとさらっと教えてくれました。私が当たり前と思っていた「を」の発音は、ずっと違っていたということになります。正確には、現代日本語としては。

当たり前と思っていることは、生育環境、教育などで植え付けられているものにすぎません。私にとっての当たり前は、他の人にとっては当たり前ではないことは多々あります。そうした別の当たり前に遭遇した時に、どう対応するか。そこが大切ですね。

私の娘は、四月から小学生です。小学校に上がったら平仮名を教わると思いますが、娘が「を」をどのように教わるのか、今から興味津々です。皆さんにとっての「を」は何でしょうか？